

第27回

うつのみやこども賞だより

平成22年度 第4回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

「3にん4きゃく、イヌ1ぴき」

たからしげる／作 東野さとる／絵（くもん出版）

「送り人の娘」

廣嶋玲子／作 東逸子／イラスト（角川書店）

「3にん4きゃく、イヌ1ぴき」 ～読んだ本の感想より～



- 犬に人がのりうつり、しかもパソコンをやって文章を書くのがびっくりした。
- 3人と犬1匹で秘密を守る秘密結社が楽しそう自分でメンバーになりたいです。
- 自分にもだれか頭のいい人がのりうつって勉強を手伝ってくれたらなと思いました。
- 良い文章にしているのは実際お父さんではないけど協力するのはとても大切だなと思った。
- 私も犬がパソコンをうっているのをみてみたいです。
- タイキの不思議な事件がとてもおもしろかった。物語が完成してからも、どんどん有名になって、あせってくるお父さんもおもしろかった。

「送り人の娘」



- 最後に伊予^{いよ}達が猛日王^{たけひおう}達と戦う所がドキドキしました。闇真^{くらま}は伊予を一生懸命に守ろうとしていたので、かっこいいと思いました。
- 伊予の自分の命を捨てても仲間を助けたいという思いはとてすばらしいと思った。
- 伊予と闇真のきずなはすごくかたいのだろうと思います。
- 伊予が死んでしまった狼をよみがえらせてしまったことがびっくりした。
- ハラハラドキドキして、次のページを読むのが楽しみになる本でした。

●私も伊予みたいに強い人間になりたいです。

「青い一角のギャロップ」

西沢杏子／作（角川学芸出版）

- 理子とストーンのぼうけんはすごくおもしろいです。ユニコーンの形から移動できるなんて、すごいです。
- 理子の心の中に現実にはないもうひとりの国があったのがすごい。
- ふだんは言葉をもたない物が理子とストーンに話しかけてくるところがおもしろかった
- この本と同じことが自分の身の周りで起きてほしいと思った。
- 理子がレースドールの所にプローチを届けることができてよかった。
- ピアノがひけなくなってしまった知子のために、理子とストーンが協力しあうという知子への思いやりがすてきだなと思った。

「時計塔のある町」

藤江じゅん／作（角川書店）

- 妹の麻由美を助けるためにマオと孝で協力しあうのがいいと思った。
- マオと孝のコンビがいい。
- 林田さんと孝は「時町」にもともと行く運命だったのかなと思った。
- 歴史とからんでいる話なのでとてもおもしろく感じた。
- 孝と麻由美が大ガラスにつかまってしまい、魂をぬかれそうになるのがこわかったです。
- マオと孝は、つむじ風を見失ってもくじけないですごいと思った。